

協働評価シート

事業名		「地球と地域の環境を考えよう！」事業	実施年度	平成22年度	
部 局		教育委員会 市民部	課 所	学校教育課 市民活動推進課	
団体等の名称		新居浜市おもちゃ図書館きしゃポップ			
評価項目		評価者	評価	左の評価の説明	
相互理解	それぞれの特 性や立場を 理解し合え たか	お互いの特 性や立場を 十分に認 識、尊重し て、事業を 実施するこ とができた かどうかを 評価。	団体等	A	相互理解は充分であった。
		市	A		
		相互協議 結 果			
対等	双方が対 等の立場 に立って いたか	対等な立場 で協議、事 業実施がで きたかどう かを評価。	団体等	A	団体側のノウハウを活かし、学校側の希望内容を確認のうえで事業実施を行なうことができた。
		市	A		
		相互協議 結 果			
自主	市民の自 動的な活 動が尊重 されたか	自主的活動 を十分に活 かして事業 効果を増加 させたかど うかを評 価。	団体等	A	手作りおもちゃや大型絵本など、団体側の特性を十分に活かした活動が実施できた。
		市	A		
		相互協議 結 果			
自立	市民の自 立化を阻 害しなか ったか	依存体質が 助長される など、市民 の自立化が 阻害される ことがなか ったかどう かを評価。 (新たな自 発的事業展 開につなが り自立化が 進んだ場合 はA評価)	団体等	A	団体等のこれまでの経験の積み重ねを活かした事業展開であった。
		市	A		
		相互協議 結 果			
目的共有	双方が協 働事業の 目的を共 有できた か	協働事業の 目的は十分 に共有して 事業実施が できたかど うかを評 価。	団体等	A	協働事業の目的を共有できた。
		市	A		
		相互協議 結 果			

情報共有	双方がお互いの情報を共有できたか	情報を十分に共有しながら事業実施ができたかを評価。	団体等	A	
			市	A	
			相互協議結果	双方がお互いの情報を共有できた。	
公開	双方の関係を十分に公開できたか	全て公開され、利便性も高いかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
			相互協議結果	双方の関係を十分に公開できた。	
「相乗効果」が発揮され、独自でも効果的と認められるか		「相乗効果」が十分に発揮され、協働が効果的と認められるかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
			相互協議結果	団体側の作成したものは、子どもの目を引き付けるもので、言葉だけで伝えるよりも、手作りのおもちゃを使った学習の効果はとて高い。	
市民の関心や参画意欲を引き出す事業の展開がされたのか、		十分に市民の関心や参画意欲を引き出す事業の展開がされたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
			相互協議結果	参観日に実施した学校では、40人の保護者に参加いただき、子どもだけでなく、親子で環境学習を受けることができた。	

事業の目的、目標が達成されたか、どのような成果があったか等（自由記述）

団体等	自分たちのこれまでの経験や活動を活かし、遊び感覚の中から環境問題（地球全体）のことを考えるきっかけをつかんでもらいたい。興味を持ってもらえるような内容を盛り込み、この2年間の成果を踏まえ、よりよいものができたが、今後も、事前にその学校ごとの目標とかならいつかについて、協議の場をできるだけ作っていききたい。
市	この事業は、実際に分別を体験できるところの効果が高く、また、学校の評価もとても高い。これまで体験学習を取り入れている学校では、より充実するために参観日などで保護者と共に学習する機会も増えてきており、今後は段階的な実施計画も検討する必要がある。 また、これまで以上に子どもたちに地球環境問題への関心を更に高めてもらうため、事業の継続が必要である。
相互協議結果	手作りおもちゃなどこれだけの教材を使用しての環境学習を学校だけで実施することは難しく、実施校においては期待以上のもとなっている。ただし、環境学習は、短期間で達成されるものではなく、繰り返し子ども達に伝えていく必要がある。 また、子どもたちの感想やこの事業をより充実させるためのアイデアなどを含めて学校ごとに振り返り、次のステップに繋げるものにしていききたい。

